

日本語ボランティア活動報告

新宿区レガス 子ども英会話クラブ No.2

海外日本語ボランティア委員会
(東京都豊島区)

「新宿レガス子ども英会話クラブ」発足経緯は、会報「夏号」にて紹介しました。新宿区在住の小学生1・2年生の計25名を対象に、英語を楽しく勉強するという企画です。この企画へのボランティア参加が、ワールドステイクラブに白羽の矢が当たり実現したものです。



体で覚える
英会話

本年2019年の5月から12月までの計18回のクラス開催が予定されていますが、10月10日現在11回が終了し、順調に推移しております。ボランティアをお引き受けいただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

ご参加のボランティア会員は、10名の方々です。9月にはボランティアの体調不良のアクシデントがありました。替わりのボランティアにバックアップしていただき、予定通り開催できました。会員の皆様のボランティア精神には本当に感謝申し上げます。

英会話クラブのクラス運営は次の通りです。

専任の女性のY先生がおられ、その先生を毎回3名の会員がボランティアとして補助する形で進んできました。25名の小学生は、初めての英語であり当初はぎこちない感じの子どももいましたが、今はみんな英語に慣れてきてとても賑やかなクラスになっています。

昔の英語教育とは様変わりです。映像や耳から英語をシャワーのように浴びせ身体で英語を覚える、といった感じです。このような英語教育の場に、ボランティア



目で覚える英会話

として参加することは大いなる勉強かも知れません。ボランティアとして参加された会員の皆様も最初は目を白黒させていましたが、子ども達から逆に元気をもらいその表情も明るく笑顔になってきています。

く笑顔になってきています。

このボランティア活動はNPOワールドステイクラブとしても初めての取り組みです。今まで人生を過ごしてきて、なにか少しでも次世代の子ども達や地域に「恩返し」がしたいと考えている会員も多いのではないかと推測していますので、そのような会員には、絶好の機会と考えています。

新宿区から、わがWSCに「子どもの英会話教育」で白羽の矢が当てられたことは、誇りに思っているのではないかと思います。次年度2020年についても、打診がきておりますので継続していきたいと考えております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

参加しての感想

(神奈川県川崎市)

参加出来なくなった方のピンチヒッターとして、6月～9月の計5回参加しました。同じ日に参加したWSCの会員の方々と協力して、「小学校低学年から英語に親しむ」という意義あるこの活動に参加出来たことにはやりがいを感じました。元気が良すぎる生徒達が数名いて、先生が苦勞する場面が何度となくありましたので、少しでもスムーズに授業が出来るようにお手伝いすることを心がけました。

蛇足ながら、3回目頃からクラスの終了後、「おじさん、向こうの壁まで競走しない？」と親しく話しかけてくれる生徒もでき、嬉しく思いましたが、「おじちゃんじゃないの？」と聞き返すと「いや、おじさんだよ！」と答えてくれ、一層、嬉しく思いました。(ちなみに競走は言うまでもなく完敗でした)